

小津産業株式会社



中期経営計画2024（Leap into the Innovation)に関する説明資料
2021年7月14日

目次



A : 前中期経営計画の振り返り ……P2

I . 小津グループ中期経営計画2021

II . 中期経営計画2021の総括

B : 中期経営計画2024の骨子 ……P 6

I . 小津グループが目指す事業像

II . 中期経営計画2024の骨子

C : グループ各社の方向性 ……P13

I . 小津グループの体制

II . グループ各社の方向性

1 . 小津産業株式会社

2 . 株式会社ディプロ

3 . 日本プラントシーダー株式会社

4 . エンビロテックジャパン株式会社

5 . その他関連会社

A : 前中期経営計画の振り返り

I .小津グループの中期経営計画2021



1. 基本方針

- (1) 製造商社機能の拡充
- (2) グループシナジー効果の追求
- (3) グローバル展開の推進

2. 主要戦略

- (1) 不織布加工機能の強化・拡充
- (2) 産学及び他社との連携による事業分野の拡張
- (3) 経営基盤の更なる強化
- (4) グローバル展開の推進
- (5) 働き方改革の推進

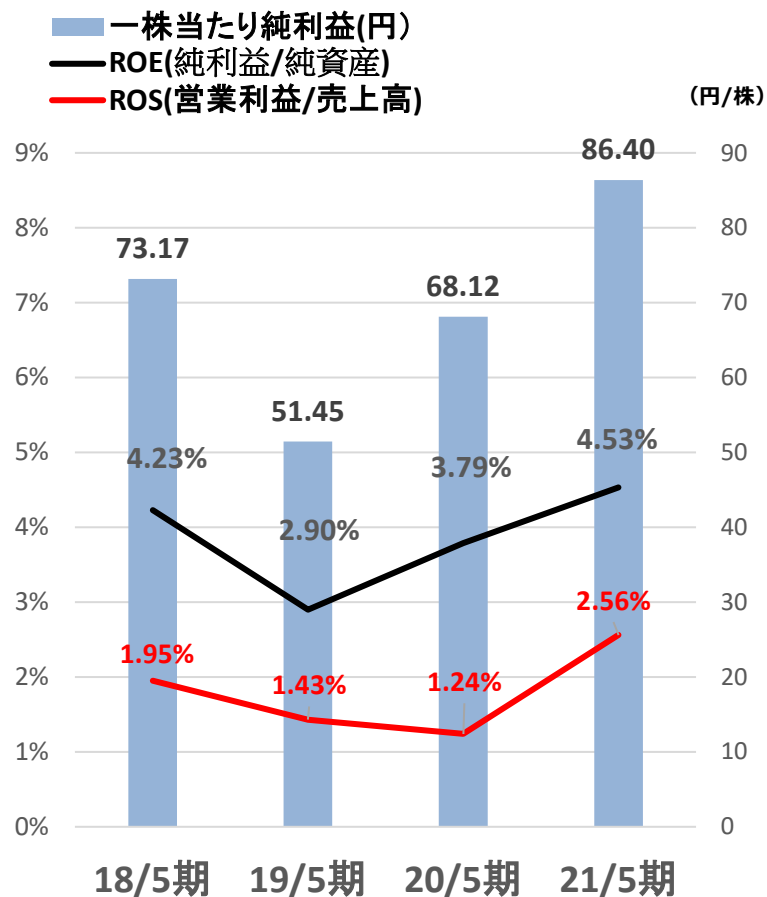
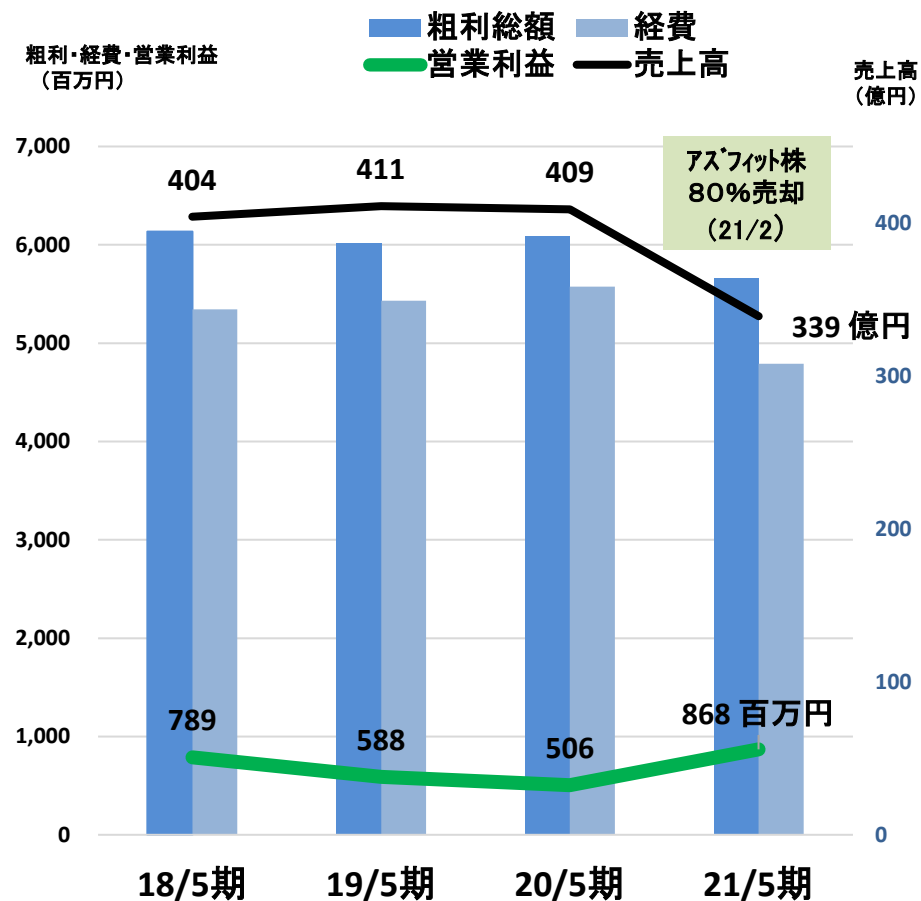
3. 損益目標

2021年5月期：売上高440億円、営業利益9億円

Ⅱ. 中期経営計画2021の総括



1. 収益力の向上



Ⅱ. 中期経営計画2021の総括



2. 中計期間中に実行した主要施策

主要戦略	実行した主要施策	具体的な成果
① 不織布加工機能の強化・拡充	・事業ポートフォリオ転換	・アズフィット株式会社の株式売却 (2021年2月)
	・製造商社機能の拡充	・株式会社ディプロ新工場稼働 (2020年2月) ・フェイシャルマスク設備導入
② 産学及び他社との連携による 事業分野の拡張	・事業分野の拡張	・新規事業推進 (過酢酸・除染布・除菌) ・技術開発部設立 (新規事業)
③ 経営基盤の更なる強化 ④ グローバル展開の推進 ⑤ 働き方改革の推進	・経営基盤の更なる強化	・人事制度改革 ・海外 ASEAN拠点再編

今後の課題

- ✓ 新規事業（除染材・過酢酸・コスメ製品）の本格拡大
- ✓ コロナ長期化とアフターコロナへの対応
- ✓ 株式会社ディプロの更なる強化
- ✓ ESG・SDGsへの対応

B：中期経営計画2024の骨子

I .小津グループが目指す事業像



■ 企業理念：

「伝統とは継続的な開拓の歴史」との認識のもと、お客さまの満足や喜びを第一に考えた新しい付加価値を提案し、豊かな暮らしと文化に貢献します。

■ 小津グループが中長期的に目指す事業像：

製造商社機能の高度化、新規事業の創出、事業ポートフォリオ変革により、
「価値創造企業」への飛躍を目指します。

■ 3カ年計画である中期経営計画2024：

「紙と不織布」の技術力を基盤に、製造機能を拡充した商社として
収益性の更なる向上を達成します。

Ⅱ. 中期経営計画2024の骨子



Leap into the Innovation

「紙と不織布」の技術力を基盤とした「価値創造企業」へ

環境認識

ビジネス環境の激変

- ・自動車CASE、AI、IoT、環境規制、日本少子高齢化、アジア人口増加
- ・コロナの長期化、新生活様式
- ・国際政治経済の枠組み変化

小津グループの環境変化

- ・既存市場の成熟
- ・新規事業の採算化途上
- ・ポートフォリオ変革、ビジネス環境変化に応じた人財・組織整備の必要性
- ・コロナ禍長期化とコロナ需要退潮

中期経営計画2024

主要戦略

- ① 製造基盤の強化
- ② 海外展開の拡充
- ③ 新規事業の確立
- ④ グループ経営基盤の強化

計数目標

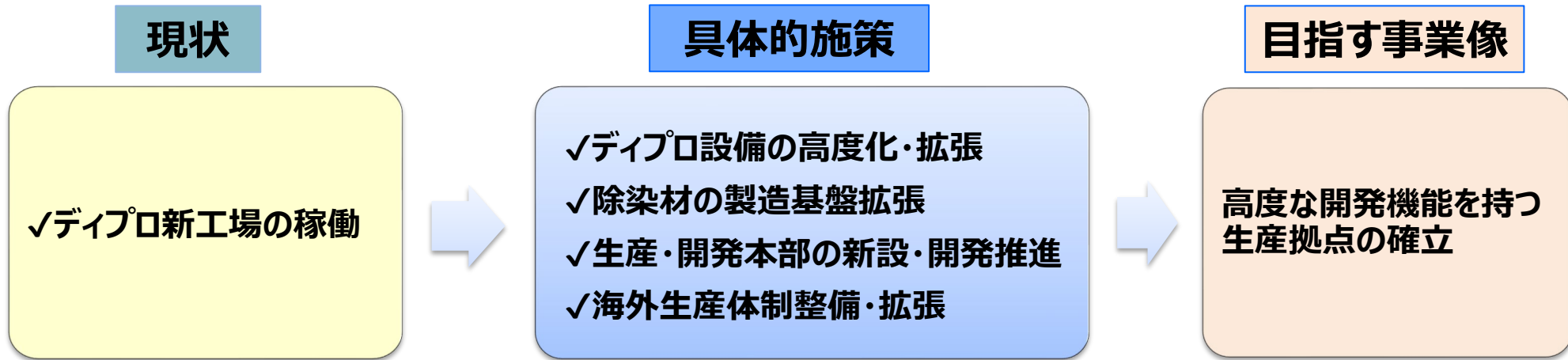
- ・売上高170億円
- ・営業利益14億円
- ・ROS 8%、ROE 8%

※長期的には、売上高200億円、ROS・ROE 10%水準をめざす

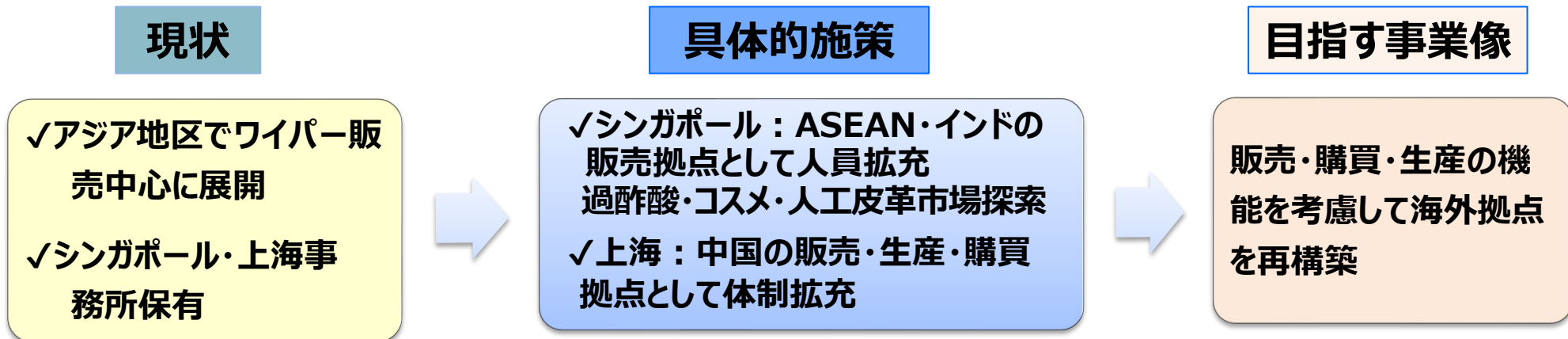
Ⅱ. 中期経営計画2024の骨子



主要戦略-(1) 製造基盤の強化



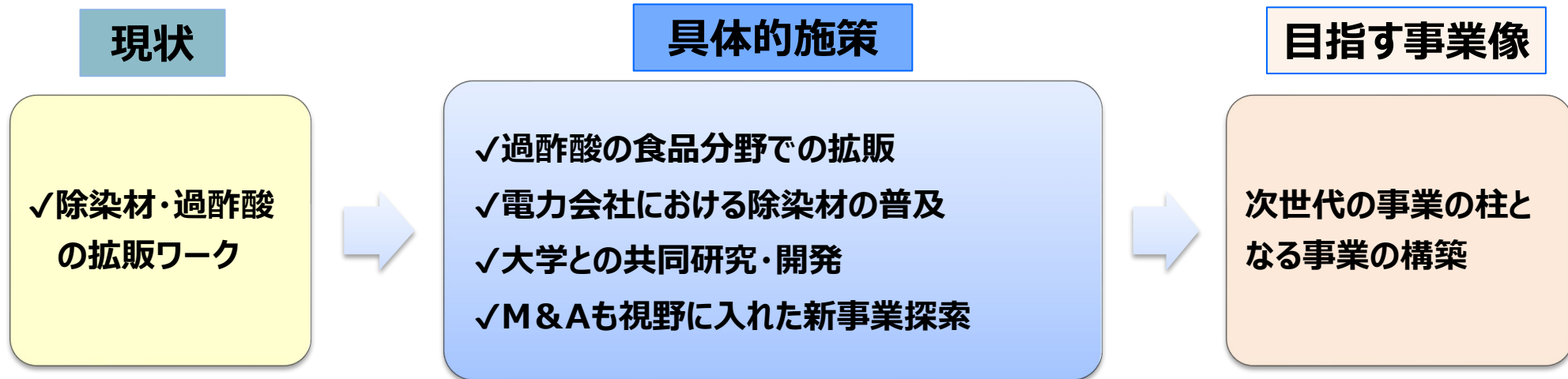
主要戦略-(2) 海外展開の拡充



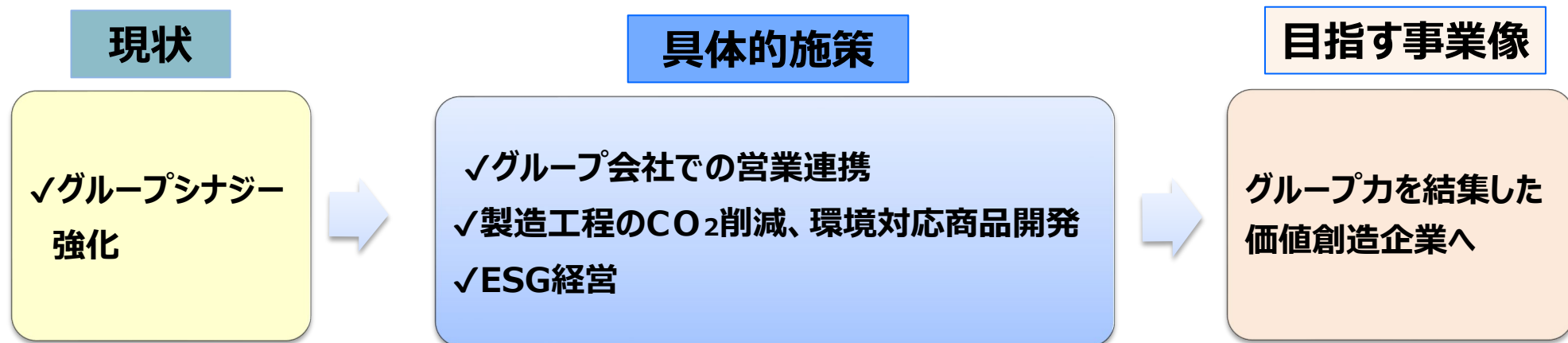
Ⅱ. 中期経営計画2024の骨子



主要戦略- (3) 新規事業の確立



主要戦略- (4) グループ経営基盤の強化



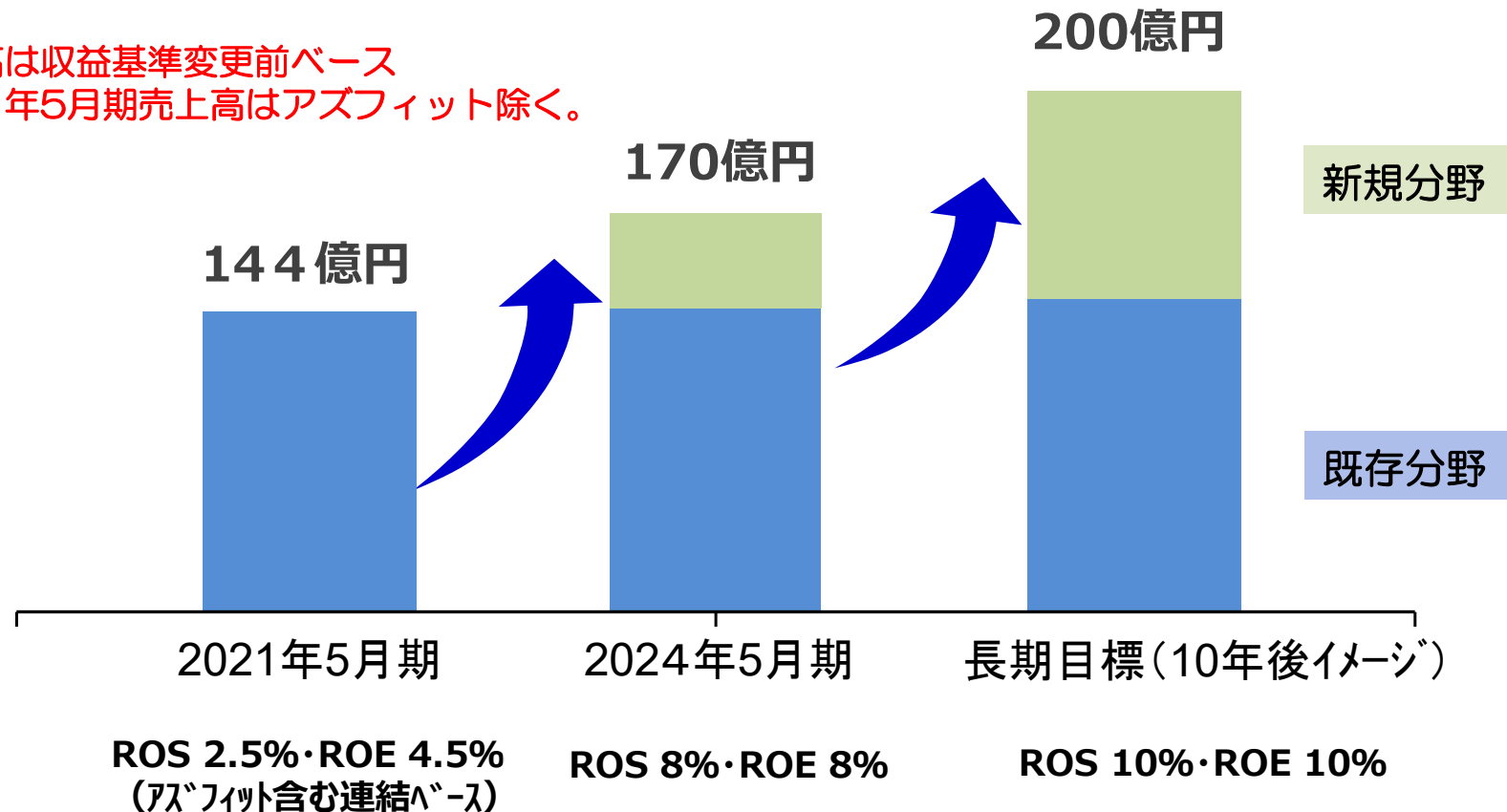
Ⅱ. 中期経営計画2024の骨子



3. 中長期の成長戦略

- 不織布加工機能と新規事業を柱にして、今後積極的な投資を計画
- 10年後には売上高200億円規模を目指す

※売上高は収益基準変更前ベース
2021年5月期売上高はアズフィット除く。



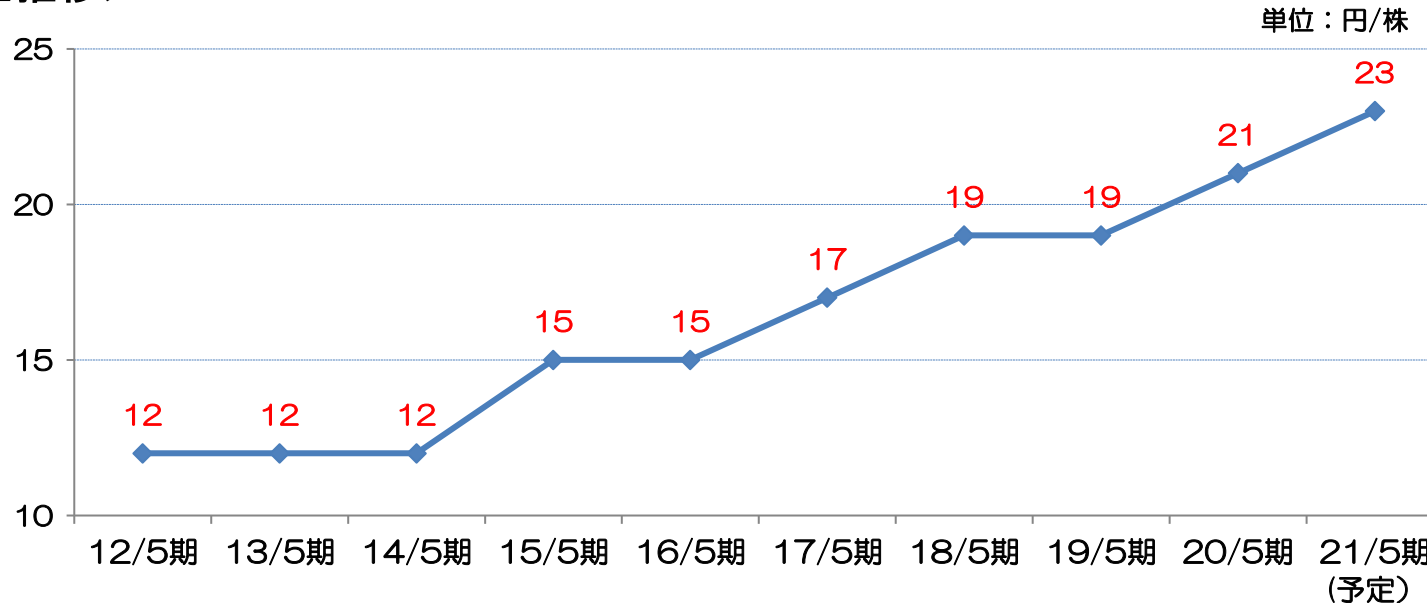
Ⅱ. 中期経営計画2024の骨子



4. 株主還元方針

株主に対して長期的に安定した利益還元を行うことを基本方針としつつ、合わせて当社グループの企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実を総合的に勘案し、株主還元を行う。

＜配当金推移＞

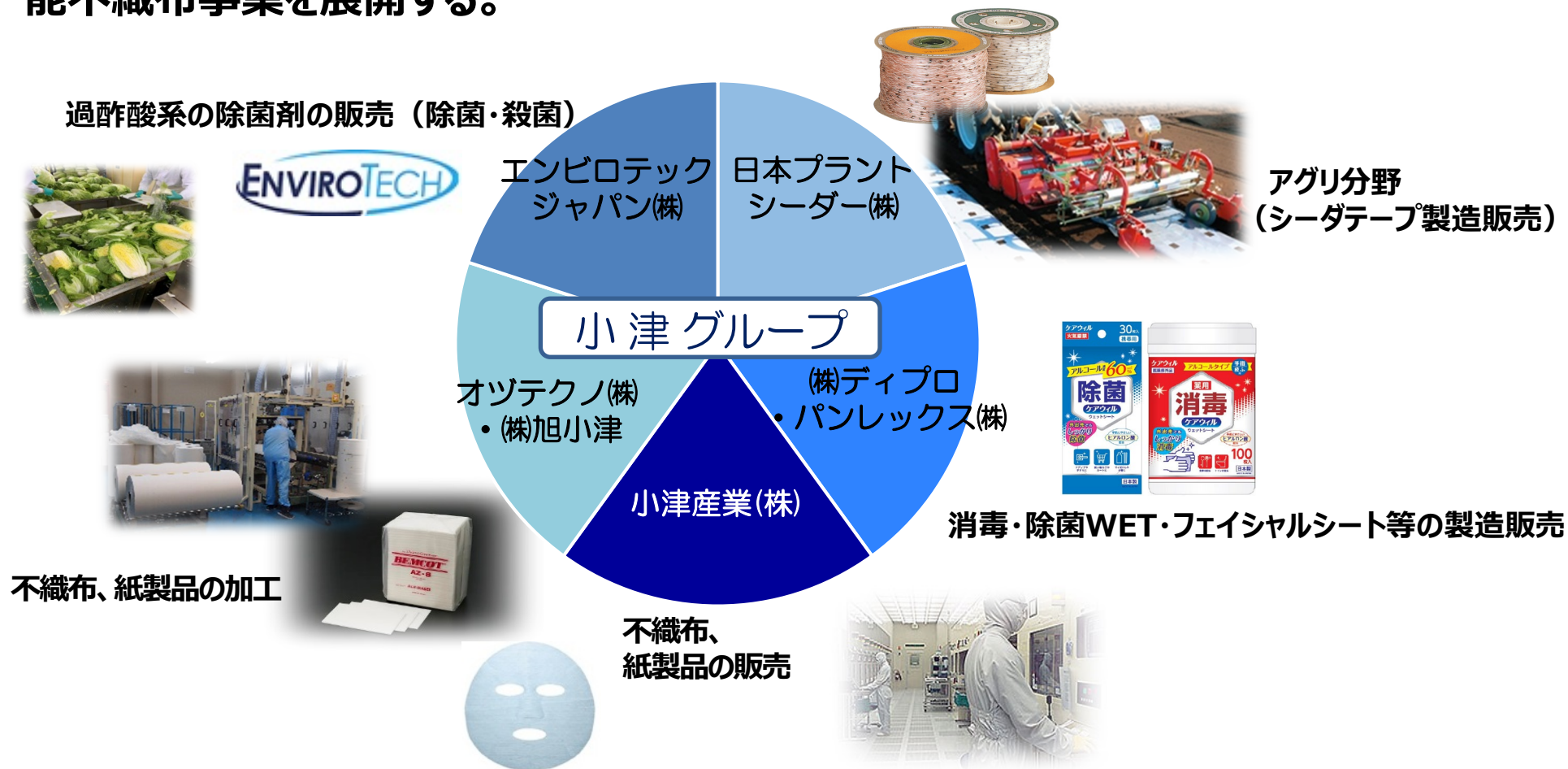


C : グループ各社の方向性

I. 小津グループの体制



- 製造商社機能の強化を目指し、付加価値を生み出す技術力・開発力をベースに高機能不織布事業を展開する。



Ⅱ. グループ各社の方向性



1. 小津産業株式会社

グループ中核会社として小津グループの成長を推進。新規事業の本格拡大、新規事業創出に注力。グループの製造機能強化、営業機能強化をけん引。

(1) エレクトロニクス

クリーンルーム用ワイパー「ベンコット」、光学用レンズペーパー「ダスパー」は優れたクリーン性能・安全・エコで日本・全世界で使用。産業界に貢献。車載用部品等への拡大をはかる。



ベンコット®



ダスパー®

(2) メディカル

病院・施設で使用する不織布ガーゼ・不織布マスク・滅菌シート・除菌シート等を販売。メディカル現場の安全・衛生に貢献。更に商品ラインナップ拡充。



Ⅱ. グループ各社の方向性



(3) コンシューマー・除染布

紙製品・人工皮革といった日用品から、安全を守る除染シートまで幅広い分野での展開。環境対策用除染シート拡販をはかる。



除染シート



人工皮革 ラムース®

(4) コスメ

フェイシャルマスク用・コスメ製品に旭化成独自素材の「ベンリーゼ」を日本・アジア地区で販売。機能性・安全性・エコを兼ね備える素材として認知をひろめコスメ製品の国内外拡販をはかる。



フェイシャルマスク

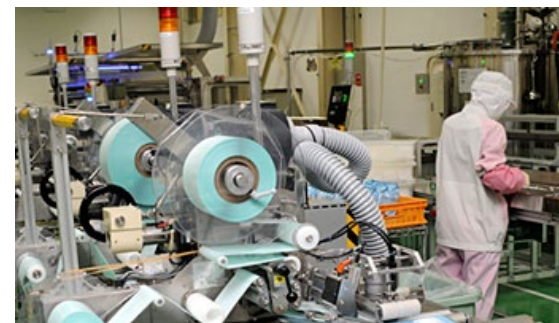
Ⅱ. グループ各社の方向性



2. 株式会社ディプロ



新本社工場（20/2完成）

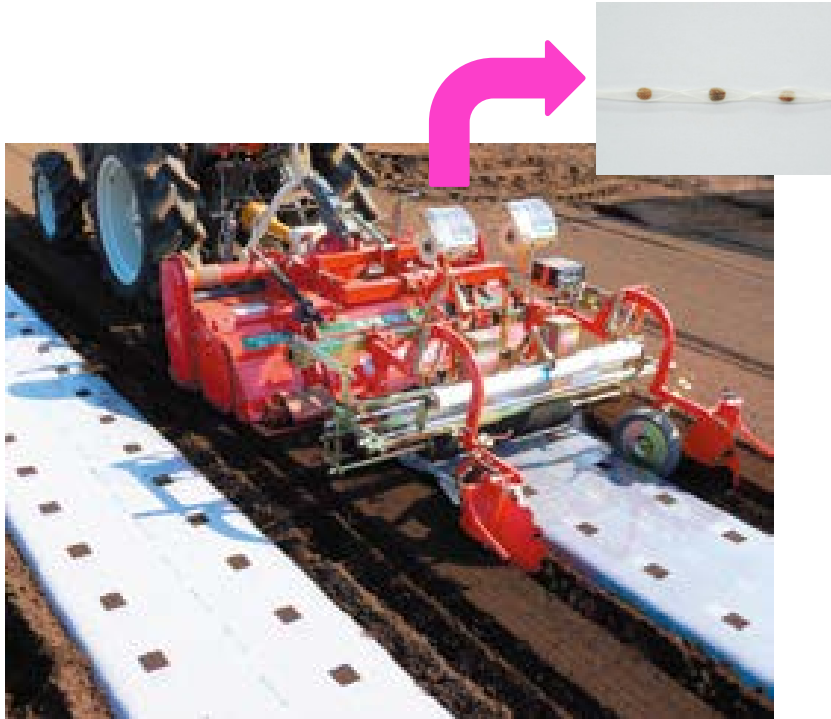


小津グループの製造拠点会社。高濃度アルコールWETシートをはじめ消毒・除菌、クリーン商品を製造販売。2020年2月に新本社工場を竣工し、高いクリーン環境でコロナ禍に対して環境衛生商品で貢献。高機能商品（機能薬剤・コスメ等）の開発を推進、設備増強をはかる。

Ⅱ. グループ各社の方向性



3. 日本プラントシーダー株式会社



あけマルくん®を使ったシーダーテープ農法



野菜の種子をテープ状の水溶性フィルムや生分解不織布に封入し専用機械で播種する「シーダー農法」普及を推進。農業の省力化・生産性向上に貢献。テープ対象作物拡大、農業関連事業への事業領域進出。

Ⅱ. グループ各社の方向性



4. エンビロテックジャパン株式会社



泡殺菌剤パーサンフォーム使用例



広範囲への過酢酸噴霧



小津産業、米国エンビロテック・ケミカルサービス社、全国農業共同組合連合会による合併会社として2017年3月に設立。食品添加物としての過酢酸製剤（米国FDA認証）を日本およびアジア諸国に向けて販売。鮮度保持による食品ロス削減・安全性向上に貢献。食品表面殺菌向けを中心に拡販。



人参の殺菌事例

Ⅱ. グループ各社の方向性



5. その他関連会社

(1) 小津上海貿易有限公司

中国での事業拠点として、営業・製品生産・原料調達の機能を強化。

(2) オツテクノ株式会社

ワイパー、メディカル製品の生産拠点。品質管理、QR体制、多品種小ロット対応強化。

(3) 株式会社旭小津

株式会社旭化成との共同出資でベンリーゼ®製品を生産。非プラスチック・生分解素材であるベンリーゼ®製品の専門工場として品質管理を徹底。

おわり